

## 本 時 の 指 導

ねらい	露点は、大気中に含まれる水蒸気の量に関係していることを実験を通して理解する。仮説を検証するための実験や考察を通して課題を探究しようとする態度を身に付ける。		
学 習 過 程	時間	生 徒 の 活 動	教師の支援( )と評価( )
<pre> graph TD     A[課題の確認] --&gt; B[仮説の検証]     B --&gt; C[実験結果の確認・検討]     C --&gt; D[新たな課題]     D --&gt; B     C --&gt; E[個人・グループでまとめ]     E --&gt; F[全体でまとめ]     F --&gt; G[自己評価]     </pre>	<p>2</p> <p>35</p> <p>10</p> <p>3</p>	<p>学習課題を確認する。</p> <p>実験により仮説の検証を行う。  <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">水蒸気が水滴になる温度を変化させる犯人を探せ！ コップに水滴がつかなくできるかも</span></p> <p style="text-align: center;">予想される検証実験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">空気中に含む水蒸気の量を少なくして露点測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水とりぞうさんを使う。</li> <li>・乾燥剤を使う。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">空気中に含む水蒸気の量を多くして露点測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水で湿度を上げる。</li> <li>・加湿器を使う。</li> </ul> </div> </div> <p>・理科室の露点（現在）と比較する。</p> <p>実験の片付けをする。</p> <p>仮説の検証結果を、マグネットシートにまとめ、情報交換掲示板にはる。</p> <p>他のグループの結果も参考にして露点を変化させる条件が水蒸気量であることを話し合う。露点を変化させる条件について話し合う。</p> <p>本時の学習を科学ノートにまとめる。自己評価をする。</p>	<p>事前に理科室の露点（現在）を測定し、提示する。</p> <p>露点が測定誤差の範囲かどうかを前時の露点測定結果から判断しているか。実験が終了したグループには考察するよう指示する。机間支援を行い、生徒の思考を深める。各グループで積極的な話し合いができたか。日常生活や露点測定(1)と(2)を関連づけて考えることができているか。飽和水蒸気量と温度の関係のグラフを掲示する。生徒の活動を評価をする。</p> <p>デジタルカメラで情報交換掲示板を撮影しておく。次時に配布し、科学ノートに綴じさせる。</p>
研究の視点	仮説を検証するための実験及び探究の場が設定できる支援の在り方		